



室っ子だより

～私たちの学校を私たちが創る～

文責 校長 福田

日頃より本校教育活動への御理解・御協力ありがとうございます。学校教育目標の具現化に向けて子供たちが中心に取組を進めてくれています。お子様への温かいお声かけ、朝の見守り、環境整備等々、保護者、地域の方々の御支援ありがとうございます。子供たちが「気づき、つながり、行動する力」を高めている取組を紹介いたします。

運動会～私たちが話し合っ、私たちがつくったスローガン～



5月12日（火）代表委員会が開かれました。本校は、「全員参加」の代表委員会にこだわり、話し合いの様子の中継を各教室のモニターで参観し、決定に関与する取組を進めています。

そして、決定した運動会スローガンは、「つなげ～みんなが一致団結 最後の一秒まであきらめない～」子どもたちが当事者意識を高め、頑張っている一コマです。スローガン達成 心から応援します。

※ 天候により運動会実施日変更等があります。連絡アプリ・HP で変更内容をお知らせします。

「ともに生きるプロジェクト」始動 第1弾～6年生の取組～

昨年度から取り組んでいる「ともに生きる」プロジェクトです。第1弾として、5月14日に大津町国際交流協会会長の犬塚麻里子さんを講師に迎え、「わたしにとって、ともに生きるとは…」をテーマに講話をしていただきました。

犬塚さんは、JICA ボランティアとして活動したウズベキスタンでの経験をもとに、「知らないままだとイメージで判断してしまうことがあるが、知ることで見方は変わっていく」と話されました。また、大好きなウズベキスタンの魅力を多くの人に伝えたいという思いから、「広報おおづ」にコラムを掲載した経験も紹介されました。その中で、「ともに生きる」とは、相手を知ろうとすることや、「なんでだろう」と考えること、思いやることなど、毎日の小さな行動の積み重ねでつられていくものだと言っていました。

さらに、「これからの時代は、みなさんの世代が『ともに生きる』社会をつくっていく」と、6年生へ温かなメッセージを送られました。

このメッセージを受けた6年生の子供たち。互いのことを思いやり、ともに生きる社会をつくるために必要なことは何か、体験を通して学び、学校全体に広げてほしいと期待しています。

